

BOOK REVIEW

「横浜」を読む

港南区の歴史が豊富な写真で

『こうなんの歴史アルバム
明治創立の学舎に残された写真物語』

港南歴史協議会編



港南歴史協議会刊
定価1000円(税込)

今、写真を扱った展示が好評である。「写真集 昭和の横浜」(横浜市史料室 二〇〇九年刊)や、かつての町並み、自らが体験した生活を彷彿とさせる写真は、多くの人々を引きつける。

明治五(一八七二)年に学園が施行されると、各地に学舎が設けられた。横浜市港南区の市立日野・水野・日下・桜岡の四小学校も、学舎としてスタートした小学校である。それらの小学校には、昭和三〇年代の宅地開発を機に、消滅しかかった地域の歴史資料を収集し、保存するための資料室が設けられた。資料室に保存されていた地域の歴史資料の中から主に写真を取り上げ、地域の歴史を追った写真集が本書である。その四校の歴史と、明治・大正から戦後までの港南区の歴史が、豊富な写真とともに記されている。

本書は港南区を取り上げているが、港南区を知る人だけではなく、高度経済成長以前の時代を生きた人々にとっても、かつての生活を思い出し、歴史の中に生きていることを実感させてくれる読み物となっている。地域に残された歴史資料を、地元の郷土史家が有効に活用した一書である。(横浜開港資料館主任調査研究員 石崎康子)